

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	同性介助は実施できているが、利用者の希望を聴取し希望にあわせた安全性を考えた適正な人員配置が出来ていない。	入居者の希望に合わせた、入浴体制作り	入居者の希望をなるべく取り入れた入浴体制を確立する	6ヶ月
2	14	地域と事業者間での交流がなく、情報の交換・共有が出来ていない。	事業者同士協働しながら質の向上に取り組む	研修、他施設見学、意見交換、交流など積極的に参加する	12ヶ月
3	35	事業所内での自衛消防活動や避難誘導訓練(昼夜想定)は、実施できている。今後地域との協力体制を整備し利用者・地域住民協力の基、安全性を確保していく必要がある。	災害時のために周辺施設への応援体制を整えておく	地区自治会への要請に出向く。当ホームの見取り図などを確認してもらい地区消防団との交流をもつ	12ヶ月
4	26	介護計画立案に関しての職員意見の反映はできているが、利用者の状況把握のためのアセスメントを強化していく必要がある。	介護計画の内容は本人や家族に相談しながら作成	介護計画の内容は家族に説明し、家族の要望を反映する 本人には介護計画の内容を、混乱しないように工夫しながら説明し、納得してもらう	6ヶ月
5	26	介護計画の実施期間の職員への周知ができおらず、定期的な見直しが出来ていない。また、利用者の状況変化に迅速に対応した見直しが実施できていない。	介護計画の期間の明示と適切な時期での見直し	定期的なミーティングの開催	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。